

# 合格体験記

大阪府(中学校・理科)に合格 R.K.さん

Q なぜ教師を目指したのですか？

A 私が教師を志望するきっかけとなったのは、中学三年生の時の担任の先生との出会いでした。先生は、常にきちんと生徒と向き合い、深い生徒理解と人間味のある温かさで私たちを包み込んでくれ、また、結果だけでなくその過程をきちんと見て評価してくれる先生でした。私にとって、きちんと見てくれている先生がいることはすごく心の支えとなり、何事にも諦めずに頑張ることができました。私も「この先生のようにになりたい」と思ったため教師を目指しました。また、理科離れが言われている中で、理科は身近に沢山溢れていて、「驚き」や「発見」ができる科目です。私の大好きな理科の「魅力や面白さ・楽しさ」を子どもたちに「伝えたい・教えたい」と思い教師を目指しました。

Q 教員採用試験に向けて

①いつから勉強しましたか？

A 勉強し始めたのは3回生の11月頃からです。この頃は、勉強し始めたというよりは、教材を買ったり、先輩に勉強の仕方や教員採用試験に向けてどう過ごしてきたかを聞き、授業の合間や授業後に図書館で勉強していました。しかし、学科の勉強もあり、1月下旬までは集中して教員採用試験の勉強が出来ず、本格的にし始めたのが2月からでした。

②勉強する際、どのような教材を使っていましたか？

A 東京アカデミーのオープンセサミシリーズの参考書や問題集を使っていました。過去問は自治体別を使用していました。

③息抜きの方法は？

A 同じ目標(教員採用試験を目指している仲間)と悩みを話したり、何気ない会話をして気分転換をしていました。あと、友達とよくご飯を食べに行っていました。

④眠気対策は？

A 外で休憩がてらにお菓子を食べたり、コーヒーを飲んだり、散歩したりしていました。また、外で友達と問題の出し合いなどをしていました。

⑤1日何時間勉強していましたか？

A 2月以降は、1日平均6時間はしていましたが、研究室と勉強の両立が大変でした。

⑥大阪府以外の対策は？

A 過去の面接内容を見たり、その自治体の過去問題集を解きました。

Q 教職ナビについて

①どのような点が良かったですか？

A 一番良かったのはやはり、同じ目標の「仲間」がいたことです。仲間が居たからこそ、辛い時やモチベーションが下がっている時に助け合い・刺激し合い・共に向上しあえました。また、教職ナビに居ると色々な情報が貰え共有し合える事です。

②教職ナビでは、どのような活動をしましたか？

A 最初は理科の「出前授業」をしていましたが、人数が増えてからは「理科ナビの活動」として他の科目の授業や問題を解いて解説したり、一般教養・教職教養の問題を解いたり、教育問題や時事問題について討論をしたり、面接対策などをしていました。また、主な自治体の対策などもしていました。しかし、こういった活動の他にも、ボーリングなどをして「縦と横の関係」の繋がりも大切にし、コミュニケーションを取りながら楽しく活動していました。

Q 面接対策はどのようにしていましたか？

A 面接対策は教職ナビで行ったり、高大連係室が主催して下さる面接対策に積極的に参加しました。また、教職ナビの仲間とこの質問に対してどう思うか(答えるか)話たり、討論したり自分が過去に行った面接の内容やフィードバックを何回も見返したりしました。

Q 来年から教壇に立つわけですが、どのような先生になりたいですか？

A なぜ教師を目指したのかでも述べたのですが、「常にきちんと生徒と向き合い、深い生徒理解と人間味のある温かさで生徒を包み込んであげる」先生、「結果だけでなく、その過程をきちんと見て評価し、生徒の心の支えとなり、信頼される」先生になりたいです。また、いつも生徒の目線に立ち気持ちを汲み取る事を心掛け、教育実習で学んだ褒める事だけでなく、「メリハリ」を持ってきちんと叱る事で生徒とより深い信頼関係を築ける先生になりたいです。そして、いつまでもこの「気持ちや初心」、教師になった「喜び」を持ち続ける先生でいたいです。

Q 後輩にメッセージをどうぞ。

A 教員採用試験に向けて沢山分からない事や悩む時・躓く時が在るかも知れません。しかし、夢であり、すごく遣り甲斐のある教員になることを目指して諦めず頑張ってくださいと思います。また、私は、教員採用試験はゴールではなく、教員に成る為のほんの「通過」点だと思います。なので、教員採用試験を目指しつつも採用試験(結果)の事だけでなく積極的に人間的に成長できる仲間や機会を作り参加してより自分を磨き充実させて行って欲しいと思います。